



▲新年の箱根駅伝で活躍した有馬圭哉さん

年末からお正月にかけて、穏やかな天候が続きました。今年も穏やかで平和な一年でありませうように。皆さまのご多幸をお祈りいたします。

◆今年の一文字に「平」という字を選びました。近年、世界中で未曾有の自然災害、テロ、ミサイル発射などが起き、様々な脅威に人々は大きな不安を感じています。こうした時代にあつて、これからも、このまちが平穏で幸せな日常を享受できますように、そして世界中に平和が訪れますように、すべてが平らかであつて欲しいと願うものです。また、30年続いた「平成」の時代が終わろうとする年でもあります。この30年の間に、科学は発達し、インターネットの世界は大きく広がり、IT機器が普及し、今やAI(人工知能)が、人間の仕事を担おうとする時代です。来年から始まる新たな元号のもとで、世の中はどのような方向に進んでいくのでしょうか。改めて平成という時代を振り返りつつ、新たな年への希望と願いを込めて、「平」という字を選ばせていただきました。

◆1月7日は、午前中に「出初式」、午後には「成人式」が行われました。幸いにも穏やかな晴天に恵まれ、盛大に開催することができました。「出初式」は蓮池小学校の校庭で行われ、一糸乱れぬ整列、行進姿を頼もしく拝見しました。住民の安全・安心を守るため、今年もよろしくお祈りいたします。また、午後には中央公民館において「成人式」を挙りました。今年には353の方が成人式を迎えられ、会場いっぱいの晴れやかな笑顔と美しい晴れ着姿、新成人によるさわやかな司会進行、堂々とした決意表明で、今年も播磨町の成人式は、厳粛かつ平穏に終わりました。その中に今年の箱根駅伝を走った有馬圭哉君も出席されていました。新成人の皆さまのさらなるご活躍をお祈りします。

播磨町長 清水ひろ子

空き家バンク調印式

都市計画グループ ☎079(435)2366

播磨町の空家等対策を推進するため、平成29年12月25日に役場で空家等バンクに関する協定調印式を挙し、一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会と協定を締結しました。空家等バンクとは、空家などの所有者から、売買・賃貸を希望する物件を町に登録していただき、町のホームページで公開するものです。この協定は、空家等バンクの運用を通じて、空家などの流通の促進を図るため、相互に連携・協力するものです。なお、空家等バンクの登録受付は、平成30年2月1日から開始する予定です。



平成30年播磨町成人式が行われました

生涯学習グループ ☎079(435)0565

「Glitter～輝き～」をテーマとして、1月7日に播磨町成人式が挙行されました。今年も、新成人による実行委員会が7月から集まり、準備しました。当日の進行も実行委員会により執り行われ、会場には273人の新成人が出席しました。

式典では、祝辞やメッセージをしっかりと聞き、20歳の決意を新たにしました。

式典後は、懐かしい恩師や同級生との話は尽きることがなく、また、マスコットキャラクターのいせきくんやよいちゃんと記念撮影をしたりして、新成人には、心に残る1日となりました。



▲実行委員の皆さん



再会を喜ぶ新成人▶

楽屋裏
12月末、海苔の取材をしました。古宮にある兵庫県漁業協同組合連合会のリ流通センターには、垂水から淡路、赤穂までの瀬戸内海でとれた海苔が集められます。ここで、等級別に分ける検査を経て、入札会で値がつけて買われ、全国に向けて出荷されます。海苔の産地としては佐賀、福岡、熊本などが有名ですが、兵庫県の生産量は佐賀について、2番目に多いということです。良質で「おいしいひょうご海苔」を今まで以上に自慢に思った取材でした。

平成29年町内火災発生件数21件。町を守る決意新たに 消防団出初め式開催

危機管理グループ ☎079(435)0991

1月7日、加古郡消防協会出初め式が播磨町立蓮池小学校で行われ、播磨町から113人の団員が参加しました。

式典の中で行われた表彰式で受賞された人は、次のとおりです。(敬称略)

兵庫県消防協会長表彰	個人表彰	
功績章	古田東分団	中作 裕之
駅前分団 赤土 浩司	本荘分団	原 祐樹
精進章	古宮分団	生柄 幸太郎
本荘分団 寺岡 一則	二子北分団	森脇 政彦
古田西分団 藤田 剛次郎	大中分団	櫻原 慎治
勤続章	二子分団	岡本 佳樹
副団長 松田 眞吾	野添分団	田中 哲二
精進章	駅西分団	小嶋 一範
野添分団 木下 昇和	二子分団	近藤 良慈
大中分団 黒石 学	二子北分団	中田 淳也
女性分団 佐々木 恵子	播磨町消防団長表彰	
加古郡消防協会長表彰	野添分団	高須賀 仁
団体表彰	宮北分団	浅原 重典
宮北分団	古宮分団	吉谷 卓真
二子分団	宮北分団	西 弘二
	大中分団	山本 宏
	野添分団	吉本 博一
	女性分団	水谷 典子
	古宮分団	筒井 英明
	二子北分団	安 徳充



山元町からの手紙

今回は今年完成した地域交流センターを紹介し、山下地区と坂元地区の2カ所に地域防災の拠点として、また地域の交流と活力を創造する拠点として建設されました。有事の際の避難スペースはもちろん自家発電設備や40tの飲用水を確保できる耐震性貯水槽、マンホールトイレなどを備えています。震災関連の資料や映像もあるので、震災時の山元町の様子や復興への取り組みなどを学ぶことができます。

藤原 洋介



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亶理郡山元町に派遣されています

播磨町農産物品評会が開催されました

住民グループ ☎079(435)2364

12月16日、JA兵庫南播磨支店「ふれあい会館」において、第15回農産物品評会が行われました。

地域農業の振興と栽培技術の向上を目的に、例年播磨町とJA兵庫南が共催しており、今年は19人の生産者から45点の出品がありました。

審査の後、出品作物は即売され、立派に育てられた野菜を手に入れた皆さんは、満足そうに会場を後にされました。売上金は播磨町社会福祉協議会に寄付されました。

この農産物品評会は、町の農産物を広く紹介する機会として、今後も開催される予定です。



▲出品された作物を審査しました

わんぱくはりまっこ



なかむら はる
中村 春ちゃん
(野添城)

いつも幸せをありがとう
(お父さん・お母さんより)

※撮影時の年齢です。